

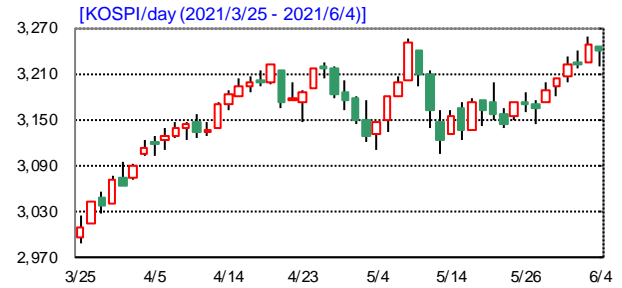


【韓国】 総合指数は週間で1.6%高と3週続伸、今週は神経質な展開か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で1.6%高と3週続伸。1日に発表された韓国の経済指標が強い内容となり、国内経済の成長が加速しているとの見方が広がった。5月の韓国輸出額の伸び率が32年ぶりの高さだった上、同月の製造業購買担当者景気指数（PMI）が景況改善・悪化の分岐点となる50を8カ月連続で上回った。総合指数は週明け5月31日に続伸し、終値ベースで節目の3200ポイントを上抜けた。6月1日以降も連騰となり、3日終値は5月10日につけた過去最高値（3249.30ポイント）に迫った。4日は6営業日ぶりに反落。米長期金利の上昇を受け、インフレ懸念が再燃した。今週は神経質な展開か。高値警戒感を背景に利益確定売りが出やすい半面、世界的な景気持ち直しへの思惑買いが相場の支えとなりそうだ。

▼指数チャート

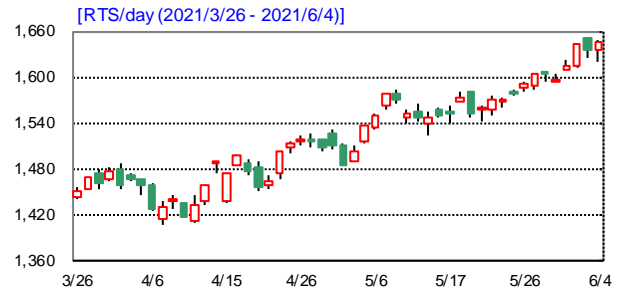


【ロシア】 RTS 指数は2.7%高と3週続伸、今週は原油相場の反落に要警戒か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で2.7%高と3週続伸。世界的な株高が追い風となる中、原油高を受けてエネルギー株が軒並み上昇し、指数は2012年4月以来の高値を更新した。週明け31日は下落したが、1日は世界的な株高や原油高が好感されて反発すると、2日も原油相場の先高観を背景にRTS指数は続伸。3日は高寄り後に高値警戒感から反落したものの、4日は米ドル安・ルーブル高を支援に反発した。指数は3日の場中に2020年1月の高値を上回り、2012年4月以来の高値を更新。ブレント原油は週間で3.3%上昇し、ルーブルは対ドルで0.4%上昇した。個別ではエネルギーのルクオイルが9.3%、ノバテクが8.0%、ロスネフチが6.6%、ガスプロムが4.4%上昇し、指数を押し上げた。今週は原油相場の反落に要警戒か。

▼指数チャート



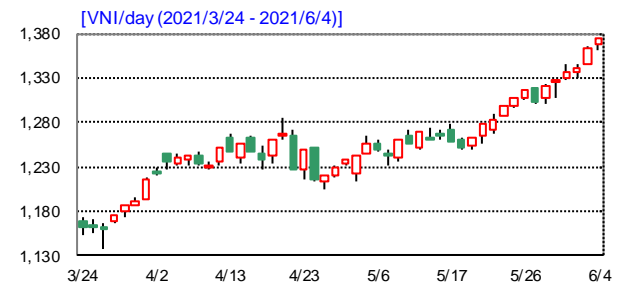
【ベトナム】 ベトナム指数は週間で4.1%高と大幅に5週続伸、今週は過熱感で調整も

整も

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で4.1%高と5週続伸。国内勢の買いが勢いを強め、指数は3週連続で過去最高値を更新した。最高値更新が続くVN指数は週明け31日に前週末比0.6%高と堅調。国内勢の買いが金融株に向かい指数を押し上げた。1日は午前の取引で0.7%高となったところで、出来高急増により午後の取引が停止された。2日も小幅に上昇すると、3日は銀行・証券株に買いが集まり、1.8%高と続伸。4日はエネルギー株が買われ、指数は0.7%高と6営業日続伸した。個別ではエネルギーのペトロベトナム・ガスが11.5%高、鉄鋼のホア・ファット・グループが10.3%高、金融の軍隊商業銀行が10.2%高。ベトインバンクが5.5%、ベトコムバンクが5.3%、ベトナム・ラバーが4.0%上昇した。今週は過熱感の高まりで調整か。

▼指数チャート



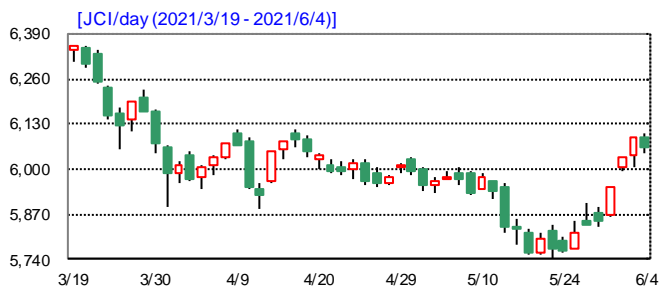


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 3.7%高、2日に終値で 6000 ポイント台を回復

ジャカルタ総合指数は 4 日間の取引で 3.7%高と続伸。5 月月間では 0.8%安。先週は好地合いが続く中、週後半は終始 6000 ポイント台での取引となった。週初の 31 日は、引け際の買いが奏功し、前営業日比 1.7%高と 4 営業日続伸。祝日を挟んだ 2 日は、5 月の CPI 上昇率が前年同月比 1.7%とインフレ圧力がやや強まったものの、指数はさらに 1.4%高と終値で約 1 カ月ぶりに 6000 ポイント台に乗せた。3 日も買い優勢の展開が続いたが、4 日は利益確定売りが出て、7 営業日ぶりに反落して取引を終えている。今週は 10 日に 4 月の小売売上高が発表される予定で、市場予想から上振れすれば株式相場の追い風か。

▼指数チャート

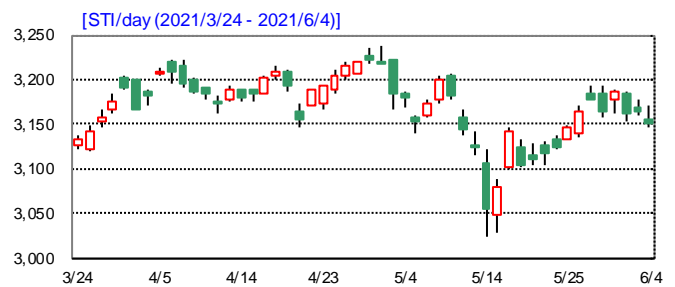


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.9%安、一進一退の不安定な値動き

ストレーツタイムズ指数は週間で 0.9%安と 3 週ぶりに反落。5 月月間では 1.7%安。先週は一進一退の値動きとなった。週初の 31 日は、買い優勢が続いた前週の反動で 7 営業日ぶりに反落。3 日は前日の取引終了後に発表された 5 月の製造業 PMI が 50.7 と 3 カ月ぶりに前月の水準を下回ったが影響は小さく、指数は小幅に上昇した。ただ、4 日は 4 月の小売売上高が前年同月比 54.0%増と大幅な伸びを示したものの、米国で広がるインフレ懸念が売り材料視され、反落して取引を終えている。今週は国内の重要イベントが少ない中、前週末の NY ダウが 5 月の米雇用統計の内容などを受けて反発した効果が期待される。

▼指数チャート

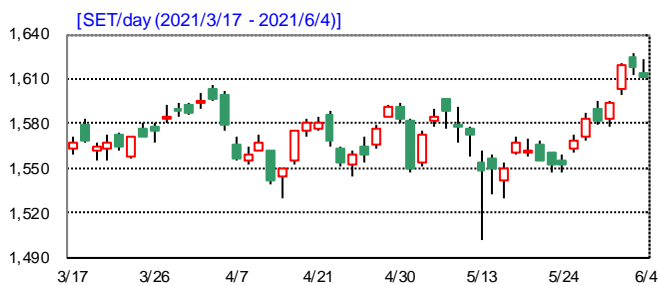


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.9%高、1日に終値で 19 年 11 月以来の高値を更新

SET 指数は 4 日間の取引で 1.9%高と 3 週続伸。5 月月間では 0.7%高。先週は前半の上昇が奏功した。週初の 31 日は、4 月の鉱工業生産が前年同月比 18.5%増と市場予想を上回ったことなどが好感されて指数は反発。1 日は金融株とエネルギー株が指数上昇をけん引し、終値で前日比 1.6%高と 19 年 11 月以来の高値を更新した。2 日は政府が追加の景気刺激対策を承認したものの効果は限定的で小幅反落すると、祝日を挟んだ 4 日は 5 月の CPI が 2 カ月連続で前年同月の水準を上回ったことが買い材料視されず、続落して取引を終えている。今週は国内の重要イベントが少なく、外部要因が指数を左右しそうだ。

▼指数チャート

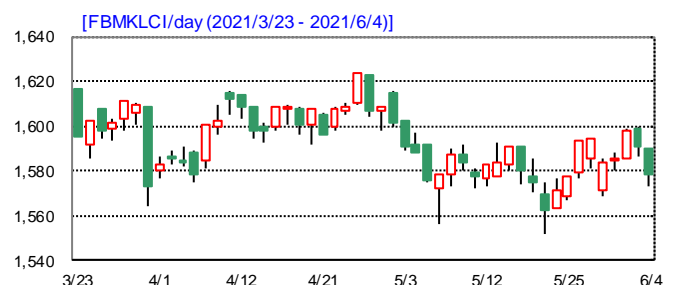


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 1.0%安、都市封鎖の再導入を嫌気

クアラルンプール総合指数は週間で 1.0%安と反落。5 月月間では 1.1%安。先週は全土での都市封鎖の再導入が指数下落につながった。週初の 31 日は 2 週間の予定で実施される都市封鎖の開始を翌日に控え、指数は 5 営業日ぶりに反落。1-2 日に買い戻された後、3 日は場中に一時、1600 ポイント目前まで上昇したが、終値では 3 日ぶりに反落した。4 日は新型コロナウイルスによる死者数の増加が嫌気され、続落して引けている。今週は 11 日に 4 月の鉱工業生産と小売売上高が発表される予定で市場予想を上回れば好材料。外部要因では米中の貿易統計や CPI の内容が意識されそう。7 日は国王誕生日のため休場。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。